第1 歳入歳出予算の執行状況

(平成30年3月31日現在)

(1) 一般会計の歳入の状況

(単位:千円、%)

	X		分		当初予算額	上半期補正額	下半期補正額	最終予算額	収入済額	左の構成比
市				税	5,172,485	0	0	5,172,485	5,078,431	36.0
地	方	交	付	税	3,940,000	138,305	0	4,078,305	4,090,944	29.0
玉	庫	支	出	金	1,149,340	△ 73,028	19,952	1,096,264	1,020,268	7.2
繰		越		金	578,452	176,391	0	754,843	754,843	5.4
県	支		出	金	911,771	24,183	△ 15,844	920,110	717,916	5.1
繰		入		金	921,995	△ 150,000	△ 92,000	679,995	641,498	4.6
地	方 消	費 税	交付	金	621,000	0	0	621,000	588,843	4.2
諸		収		入	467,572	14,935	14,422	496,929	469,333	3.3
地	方	譲	与	税	211,400	0	0	211,400	211,269	1.5
使	用料	及び	手 数	料	207,833	0	0	207,833	203,257	1.4
自	動車取	得種	兑交负	1金	56,001	0	0	56,001	64,950	0.5
市				債	1,313,000	237,881	4,600	1,555,481	44,600	0.3
寄		附		金	104,481	0	△ 60,000	44,481	44,376	0.3
財	産		収	入	64,612	0	△ 22,677	41,935	43,824	0.3
分	担金	及び	負 担	金	41,858	100	0	41,958	33,228	0.2
株式	式等譲渡	度所得	割交值	金世	38,000	0	0	38,000	24,453	0.2
地	方 特	例	交 付	金	22,000	△ 744	0	21,256	21,256	0.2
配	当	到 交	5 付	金	17,000	0	0	17,000	21,021	0.1
ゴノ	レフ場	利用	税交付	す金	16,000	0	0	16,000	14,928	0.1
利	子割	到 交	区 付	金	9,000	0	0	9,000	10,690	0.1
交道	五安全	対策特	別交付	士金	6,200	0	0	6,200	5,097	0.0
歳	入		合	計	15,870,000	368,023	△ 151,547	16,086,476	14,105,025	100.0

(2) 一般会計の歳出の状況

(単位:千円、%)

	X	分		当初予算額	上半期補正額	下半期補正額	最終予算額	支出済額	左の構成比
民	生		費	4,065,388	7,470	26,972	4,099,830	3,726,927	27.3
教	育		費	2,551,503	12,549	15,677	2,579,729	2,148,480	15.7
衛	生		費	1,989,639	△ 4,905	1,786	1,986,520	1,894,214	13.9
土	木		費	2,332,573	△ 16,188	△ 98,083	2,218,302	1,454,376	10.7
総	務		費	1,663,620	8,337	△ 28,223	1,643,734	1,413,108	10.3
公	債		費	1,312,877	0	1,869	1,314,746	1,302,669	9.5
消	防		費	651,949	275,154	936	928,039	703,013	5.1
農	林水	産業	費	725,159	16,124	△ 47,075	694,208	555,044	4.1
商	エ		費	352,927	18,856	6,507	378,290	297,007	2.2
議	会		費	152,725	△ 18	△ 5,600	147,107	139,655	1.0
諸	支	出	金	1,001	49,876	4,702	55,579	22,370	0.2
労	働		費	3,052	0	0	3,052	3,050	0.0
災	害復	IB	費	40	1,000	0	1,040	788	0.0
予	備	:	費	67,547	△ 232	△ 31,015	36,300	0	0.0
歳	出	合	計	15,870,000	368,023	△ 151,547	16,086,476	13,660,701	100.0

(3)特別会計の歳入の状況 ※平成28年度より簡易水道特別会計は、水道事業会計へ統合されました。

(O) 15/11/20 V/11/20 V/11/20	ふ 1 別と0十及びう間の				
					(単位:千円)
区分	当初予算額	上半期補正額	下半期補正額	最終予算額	収入済額
国民健康保険特別会計(事業勘定)	4,470,000	0	19,824	4,489,824	3,904,593
国民健康保険特別会計(施設勘定)	265,000	0	0	265,000	223,081
後期高齢者医療特別会計	382,000	0	15,332	397,332	382,231
農業集落排水事業特別会計	672,000	11,131	0	683,131	674,469
公共下水道特別会計	356,000	1,768	0	357,768	345,782
合計	6,145,000	12,899	35,156	6,193,055	5,530,156

(4)特別会計の歳出の状況

(単位:千円)

					(+III · 113)
区分	当初予算額	上半期補正額	下半期補正額	最終予算額	支出済額
国民健康保険特別会計(事業勘定)	4,470,000	0	19,824	4,489,824	3,840,952
国民健康保険特別会計(施設勘定)	265,000	0	0	265,000	241,219
後期高齢者医療特別会計	382,000	0	15,332	397,332	350,113
農業集落排水事業特別会計	672,000	11,131	0	683,131	570,980
公共下水道特別会計	356,000	1,768	0	357,768	298,711
合計	6,145,000	12,899	35,156	6,193,055	5,301,975

(5) 水道事業会計の状況

(単位:千円)

	X		分		金額
収	益	的	収	入	750,148
収	益	的	支	出	371,075
資	本	的	収	入	217,021
資	本	的	支	出	597,777

第2 市民負担の状況

(平成30年3月31日現在)

(単位:千円、%)

										(単1//	<u>!:千円、%)</u>
	Σ	☑ 分	当初予算額	上半期補正額	下半期補正額	最終予算額	調定額	収入済額	徴収率	1人当たり	1世帯当たり
			А	В	С	A+B+C=D	Е	F	F/E×100	負担額(円)	負担額(円)
市	ī	民 税	1,883,461	0	0	1,883,461	1,996,356	1,751,140	87.7	50,756	142,196
	個	人	1,578,431	0	0	1,578,431	1,654,563	1,414,214	85.5	40,991	114,837
	法	人	305,030	0	0	305,030	341,793	336,926	98.6	9,766	27,359
固	定	三資産税	2,969,161	0	0	2,969,161	3,259,850	3,009,627	92.3	87,233	244,387
	土	地	822,961	0	0	822,961	852,504	837,340	98.2	24,270	67,993
	家	屋	1,041,414	0	0	1,041,414	1,048,072	1,029,429	98.2	29,838	83,591
	償	却 資 産	1,078,319	0	0	1,078,319	1,130,786	1,110,672	98.2	32,192	90,189
	滞	納繰越分	25,600	0	0	25,600	227,621	31,319	13.8	908	2,543
	交納	付金及び 付金	867	0	0	867	867	867	100.0	25	70
轁	ĚÉ	動車税	97,350	0	0	97,350	100,286	97,289	97.0	2,820	7,900
巾	ī た	きばこ税	214,334	0	0	214,334	228,228	212,555	93.1	6,161	17,260
ス		湯 税	8,179	0	0	8,179	7,820	7,820	100.0	227	635
†	ī	税合計	5,172,485	0	0	5,172,485	5,592,540	5,078,431	90.8	147,197	412,378

⁽注)人口及び世帯数は、平成30年3月31日現在の34,501人と12,315世帯で算出

第3 財産、地方債及び一時借入金の現在高

(平成30年3月31日現在)

(1) 市有財産現在高

(単位:千円、㎡)

1 10				7.23	#Jm		ı	(単位)	: 千円 、 ㎡)		
	分		<u>t</u>	地		建	物		有価証券額面	預 金	備考
(= = = = = = = = = = = = = = = = = = =			積	価	格	面積	価	格			
行 政 則		1,089,2			_	176,124	 				
普 通 貝		104,3			_	3,940					
Ш	林	6,766,0	081		_	_		_			
樽 見 鉄 道 ㈱									4,500		
岐阜県名産販売	· 株券								3,500		
	株 券								200		
東海旅客鉄道	(株) 株 券								200		
近鉄グループホールディ	ングス㈱株券								206		
岐阜エフェム放	送 ㈱ 株 券								750		
(株) 岐阜 放 党	生 株 券								3,735		
㈱岐阜フットボー	ルクラブ								2,000		
もとす郡森林組	合 出 資 金									15,600	
(公社)岐阜県森林2	公社出資金									50	
(一社)岐阜県野菜価格安定基	基金協会出資金									300	
本巣市土地開発公	社 出 資 金									5,000	
上水道事業会計	十出資金									919,645	
(公社)木曽三川水源造成	以社出資金									10	
地方公共団体金融機	機構出資金									3,100	
岐阜県信用保証協	会出捐金									8,683	
(一財)都市農山漁村交流活性	生化機構出捐金									1,500	
(公財)岐阜県教育文化	財団出捐金									196	
(一財)もとす振興2	公社出捐金									155,000	
勤労者生活資金融	資預託金									0	
小口融資原資	貸 付 金									0	
樽 見 鉄 道 ㈱	貸 付 金									169,500	
医師住宅等	貸 付 金									34,265	
(一社)岐阜県畜産協	協会寄託金									360	
財 政 調 整	基金									3,753,430	
減 債 基	金									364,181	
地 域 福 祉	基金									847,707	
廃棄物等処理施設	建設基金									190,335	
ふるさと農村活性化	1 対策基金									41,328	
樽 見 鉄 道 対	策 基 金									88,200	
学校教育施設等	整備基金									712,515	
安藤多										140,817	
数学のまちづく										12,900	
	学 基 金									6,944	
										211,500	
地域交流施設惠										33,210	
下 水 道 事 業 対	策基金									446,478	
地 域 振 興	基金									102,860	
	備基金									150,200	
	険 基 金									433,897	
国民健康保険診										237,338	
									15,091	9,087,049	
合	Ħ	7,959,6	635		0	180,064	-	Ο	. 3,531	9,102,140	
							1		l	5,.32,.10	

(2) 地方債及び一時借入金現在高

(単位	千	П	ı\
	\neg		1)

費 途		未償還額	構成比
公 共 事 業 等	債	59,647	0.4
公 営 住 宅 建 設 事 業	債	47,797	0.3
災 害 復 旧 事 業	債	7,840	0.1
緊急防災・減災事業	債	385,863	2.5
全 国 防 災 事 業	債	113,000	0.7
学校教育施設整備事業	債	398,493	2.6
社会福祉施設整備事業	債	28,509	0.2
一般補助施設整備等事業	債	65,160	0.4
一 般 単 独 事 業	債	5,013,321	32.5
辺 地 対 策 事 業	債	391,390	2.5
厚生福祉施設整備事業	債	10,297	0.1
財 源 対 策	債	32,612	0.2
減 税 補 て ん	債	129,768	0.8
臨時財政対策	債	8,744,688	56.7
普通会計 債合	計	15,428,385	100.0
病院事業	債	103,772	100.0
農業集落排水事業特別会	計	3,820,518	58.7
	計	2,686,164	41.3
下水道事業	<u></u> 債	6,506,682	100.0
1. 小 但 尹 未	貝	0,000,002	100.0
水 道 事 業	債	5,789,300	100.0
一 時 借 入	金	0	0.0

第4 財政の動向及び市長の財政方針

(1) 財政の動向

合併以来、財源確保が厳しい状況が続いている中で、行財政改革大綱に基づく「行財政改革実施計画」の推進、歳出削減の積極的な取り組みや安定した市税収入を確保することなどにより、財政の健全化判断比率においても、国が示す基準以下であり、健全性は保たれていると言えます。

しかし、今後の財政見通しでは、近年の景気の低迷による市税の減収に加え、中部電力奥美濃水力発電所に係る償却資産の減に伴う固定資産税の減収と、平成31年度には普通交付税が一本算定となり、市が自由に使える一般財源が大幅に減額となる見込みです。

一方、歳出面では、ますます進行する少子高齢化により、社会保障関係経費の大幅な増加をはじめ、公債費、施設の維持管理費の増加が見込まれます。

(2) 市長の財政方針

将来にわたり財政の健全性を維持していくためには、5年後、10年後の収入に見合った歳出規模、財政構造にしていかなければなりません。限られた財源を効果的、効率的に活用することを基本に、合併による効率性や合併の効果を徹底的に追求することが必要です。